

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 つばめにじいろ館

評価日：令和5年12月20日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員10名に対して、指導訓練室33㎡、相談室4.95㎡あります
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常勤職員4名、非常勤職員1名の計5名体制で配置しています（うち、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名、強度行動障害支援者研修終了者1名）
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			令和6年2月の事業所移転に伴い、事業所内はバリアフリー化されますが、駐車場から建物に入る際に手すり付きの段差があるので注意して昇降します
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			長期休みやイベント・お出かけなど、ミーティング時に良かった点や反省点などの振り返りと改善策の共有を行い次回に活かしています
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、改善策の検討と実施を行っています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	どのような外部評価が行えるか検討します
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員ごとのスキル向上のため、必要と思われる研修会参加とレポート提出、外部講師による全体研修を行っています
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズの把握と解決策を検討し支援計画に落とし込んでいます
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用し行動の把握と支援に活かしています
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月のミーティング時に全体のイベントやお出かけの大きな打ち合わせを行い、個別に活動計画の作成を行っています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			半年ごとの支援計画の見直しと、月ごとのイベントやお出かけ、曜日ごとの活動プログラムなど変化を持たせて固定しないよう工夫しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間を考慮し、午前中（個別療育）、午後すぐ（集団活動）、おやつ後（自由活動）を全体の流れとして、平日、休日、長期休暇の支援をおこなっています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況と保護者のニーズをふまえ、個別活動と集団活動を織り交ぜて作成実行しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に利用児の確認、送迎の確認、活動内容や担当者の確認を行っています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援翌日の朝礼時に児童ごとの気づいたことや変化、課題の解決の打合せ、送迎時の学校や保護者からの情報などを共有しています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動日誌の日々の記録と朝礼時における課題の共有解決を行っています

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング後の検証を担当職員で行い計画の見直しの必要性は常にあります
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			自立支援と日常生活充実のための活動、創作活動、地域交流の機会・余暇の提供を具体的な支援活動に落とし込み提供しています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童ごとに担当を決め、それを統括する担当者と共に情報共有を行い、児童発達支援管理責任者とともに関係機関と連携しています
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校と事業所の双方向での情報共有ができています。行事や送迎時だけでなく、実際に活動中の見学なども相互で行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていません。投薬など詳細な情報が必要な場合は、直接、医療機関や薬局に確認しています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前だけでなく、併用利用される場合も含めて、保護者の要望に応じて情報共有を行っています
	24	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて情報提供します
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修会に参加しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童の特性を考慮し今のところ事業所としては交流の機会は設けていません。今後検討します
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていませんので今後検討いたします
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談、電話や連絡帳、送迎時など、日々情報共有を行い共通理解を持てるように努力しています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	プログラムとしては行っていませんが、子どもの特性に応じて自宅で出来る事の提案や対応方法を共有しています
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時、重要事項説明・契約内容説明時に合わせて、支援内容や利用者負担など説明しています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談は随時伺っています。助言だけでなく、各ご家庭の状況に合わせた必要な支援を行っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会や保護者会の類いは開催しておりません。保護者から要望があれば他事業所の開催の状況や見学をしながら検討します
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの苦情は真摯に受け止め、関係職員に即座に共有され、迅速かつ適切に対応を心がけています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報の発行又はホームページにて活動内容の報告、日々の連絡帳にて活動予定や当日の様子など発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			職員全員、入社時に個人情報保護に関する誓約書を取り交わしています。他の指定通所支援事業者・指定障害サービス事業者に対し、利用者に関する情報を提供する際は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ています

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的に分かりやすく、絵で表示するツールなどを活用して意思伝達ができる配慮を行っています
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の行事に地域住民を招待したことはありません。今後作品展などを企画し保護者様や地域の皆様をご招待するなど地域に開かれた運営を検討します
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルは策定しているが、保護者への周知までは実施できておりませんので、今後随時行っていきます
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に各災害に備えて訓練を実施しています
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部の研修会に年に複数名ずつ参加しています
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	今後、身体拘束の可能性のある児童に関しては事前に状況・方法を保護者に説明し支援計画に記載します。また、やむを得ず身体拘束となった場合は記録を残します
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始前、児童台帳作成時に保護者よりアレルギーの有無を伺い、職員への情報共有を行っています
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例は朝礼やミーティング時に随時報告を行っています。また事例集としてファイルにまとめています